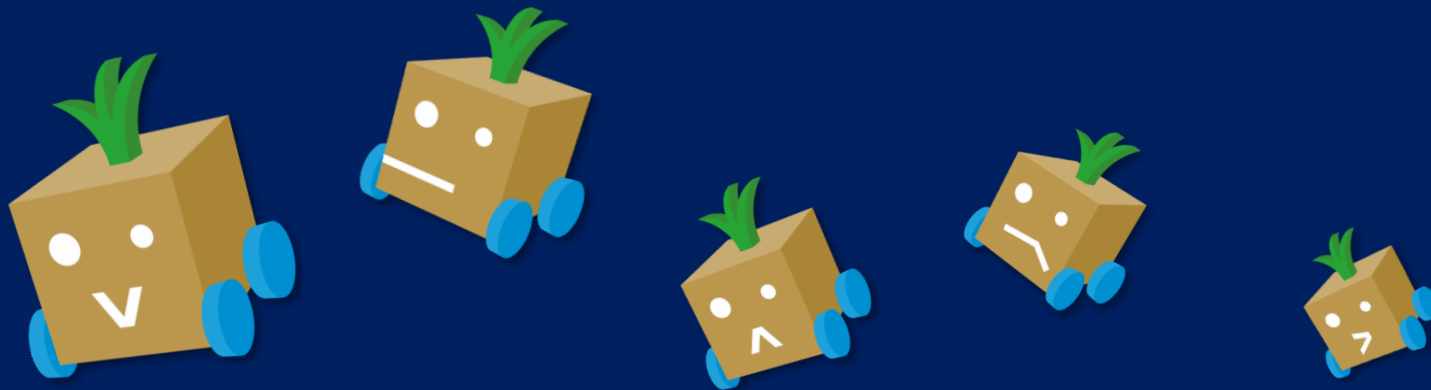


DX博士人材フェローシップ

北海道大学大学院農学院

ビークルロボティクス研究室

博士後期課程2年 森田 豪





ビークルロボティクス研究室について

• 農業用機械のロボット化・自動化

- ✓ 少ない人で多くの機械を動かす
- ✓ 未経験者でも質の高い作業が可能に

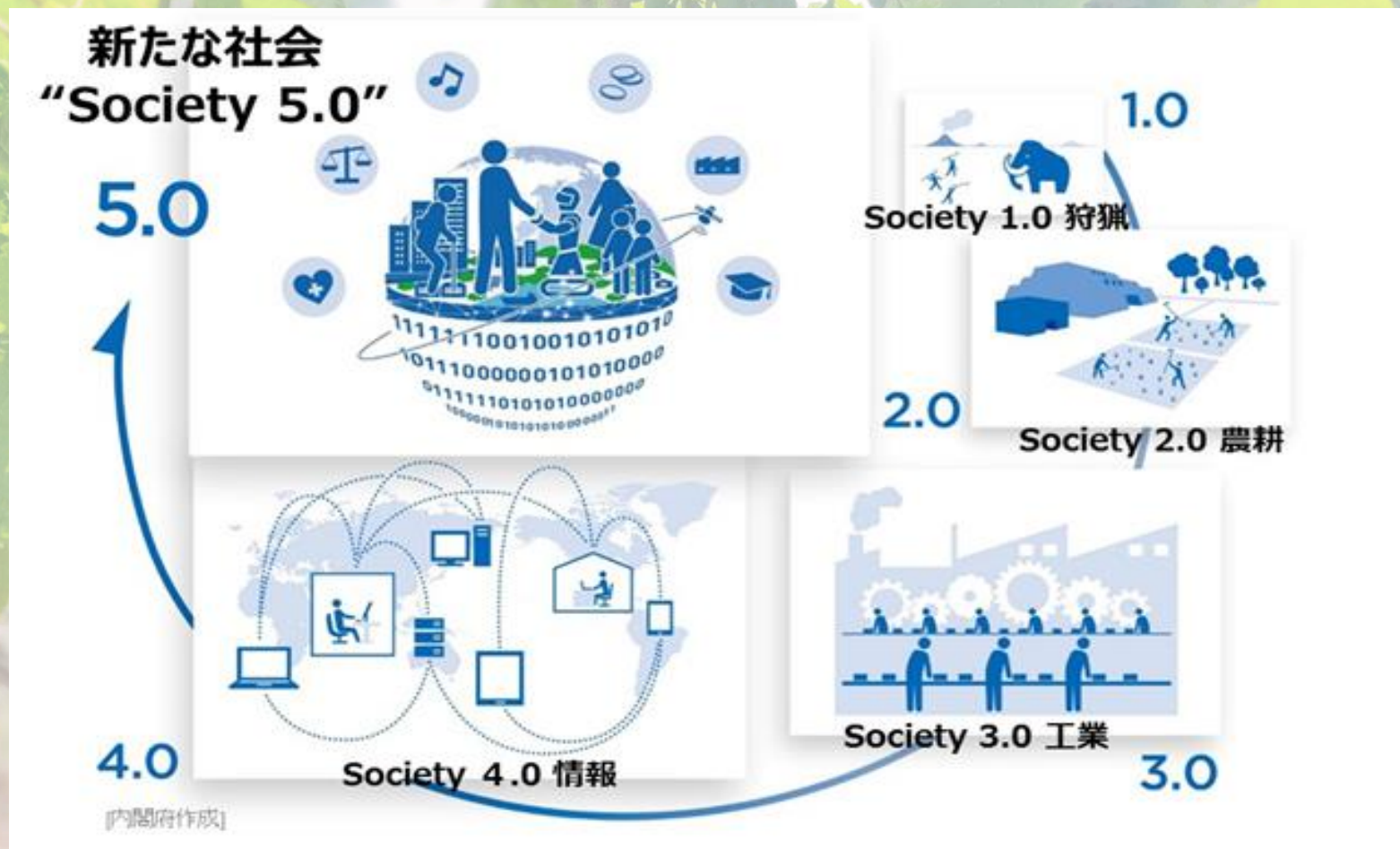
• データに基づいた農業

- ✓ 経験と勘に頼らない
- ✓ 知識やノウハウの形式化

農業の新しい体系である
「スマート農業」の実現に向けて！



Society5.0が目指す未来の農業





Society5.0が目指す未来の農業



果樹園ロボットの開発





フェロシップへの応募理由

- スマート農業に関わる研究を続けたい
- 給付型奨学金・研究費などの金銭的補助
- 地域問題に関心・農業は基幹産業
- キャリアプランなどのサポート





フェローシップに採択されての実感

- 自主的な研究に使用可能な研究費
基本研究費に加えて追加の研究資金を獲得できる可能性も
- 博士後期課程進学における金銭的負担が大幅に減少
標準3年間の就学において給付型の奨学金は非常に頼もしい
- 各種セミナーやプロジェクトなどの交流の場
大学院生には貴重な研究室以外の活動やつながり

地域の未来SOUZOUプロジェクト



地域の未来SOUZOUプロジェクト

メンバー

- 研究室の博士後期課程2年3名

活動場所

- EZOHUB SAPPORO

アクティビティ

- 具体的な成果物は不定
- 学生のみで行う取り組み
- 地域企業との交流・課題解決





プロジェクトへのモチベーション

- **学生主導で行う取り組み**
課題発見から解決まで自主的な能力を磨く
- **地域の問題に関心がある**
富良野や帯広など北海道の地方出身者が多い
- **現場の声による隠れニーズの発掘**
実際に声を聞くことで自身の研究にも応用
- **大学外の方とのコミュニケーション**
研究の意義や内容を正しく伝達する技術の向上

